

令和2年(2020年)9月9日(水)
(公財)広島平和文化センター
広島平和記念資料館副館長(事)学芸課長:加藤
電話:241-4004 内線 5804
担当:学芸課 土肥、植野

「広島平和記念資料館資料調査研究会研究報告」第16号の発行について

- 1 名称 「広島平和記念資料館資料調査研究会研究報告」第16号
- 2 発行年月日 令和2年8月31日
- 3 発行者 広島平和記念資料館資料調査研究会
- 4 仕様 A4判 119頁
- 5 内容
 - (1) 平和祭・平和記念式典の場所移動と定着過程に関する研究
広島諸事・地域再生研究所 石丸 紀興
 - (2) 広島における原爆被災の映像と相原秀二資料について
広島大学 原爆放射線医科学研究所 助教 久保田明子
 - (3) リニューアルオープンした本館の展示環境
独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
副所長 兼 埋蔵文化財センター長 高妻洋成
 - (4) 広島原爆線量評価に果たした被爆建造物および被爆資料の役割(その3)
—被爆鉄材中の⁶⁰Co強度分布—
広島大学 大学院工学研究院 客員教授 静間 清
 - (5) 『広島および長崎における原子爆弾放射線被曝線量の再評価 線量評価システム2002 DS02』
の第5章「地図と航空写真の整合と照合」に記載される内容について地図学的観点から懸
念が抱かれる事項の分析と検証
中国書店 竹崎 嘉彦
 - (6) 長崎の原爆被害における基礎知識
長崎大学 多文化社会学部 客員研究員 四條 知恵
 - (7) 日本とアメリカのはざま—在米原爆被爆者の運動史の解明に向けて
松山大学 人文学部 准教授 根本 雅也

6 発行部数と配布先

200部(市内公共施設、図書館、平和関係機関など)

7 ホームページへの掲載

9月10日(木)から、広島平和記念資料館ホームページの「刊行物のご紹介」に本研究報告のPDF版を掲載します。どなたでも閲覧やダウンロードが可能です。

http://hpmmuseum.jp/modules/info/index.php?action=PageView&page_id=221

(問い合わせ先)

広島平和記念資料館資料調査研究会事務局(広島平和記念資料館学芸課)

電話(082)241-4004 FAX(082)542-7941

〒730-0811 広島市中区中島町1-2 E-mail gakugei@pcf.city.hiroshima.jp